

自主学習会

古代の東国探訪学習会

佐倉市 浅生 武治

本学習会は発足してからかれこれ10年経ちます。古代史に於けるヤマトと東国との関係、また、東国独自の古代史像など素人ながら勉強し、それを発表、討論しあい互いに理解を深めることを目的として当初数人で立ちあげたものです。現在メンバーも30数人となり活発に活動していますが、昨年3月に学習会(例会)100回を迎えたことで研究、発表範囲を追加しました。原則は「古代東国」ですが時代、地域には拘らず少し自由にやってみようとなりました。元々、東国は関東(常陸、下総、上総、上野、下野)を対象としていましたので、10年経過した中で、東国に関する発表資料も大分出尽くした感もあり、また、会員も入れ替わりが多少あったからです。

例えば、江戸中期から幕末にかけて繁栄した北前船について勉強し発表しようと思った場合、従来なら東国とは縁がないからと躊躇しましたが、今は自由です。古代の日本海の交流、古代の朝鮮半島との関係、朝鮮と出雲、出雲と越の国、越と信濃などなど。また、太平洋側はどうだったんだろう、蝦夷との交流は、次から次と勉強したいことが出てきます。対象の枠を広げたことで学習範囲が広がり、また、新たな視野が開けました。



次に会の活動についてですが、定例会は毎月第三木曜日、13時30分～16時までガイダンスルームで司会者のもと、予め決められた人が自分で選んだテーマを発表し、その後質疑応答を行います。発表はこの時間内で二人です。

最近の皆さんの発表テーマは記述した様に、少しずつですが関東から離れ、時代も古代に拘らないものを発表されています。例えば、日本酒の歴史、平忠常の乱、北上川の水運、下総における古東海道について、古代倭国北縁の交流と軋轢など。また、年に一回か二回フィールドワークと称して歴史散策をしています。10月は市川市の国府台の古戦場跡～矢切の渡しを渡って対岸の柴又帝釈天を参拝しました。参拝後は一杯やりながら歴史談義に花を咲かせます。また、友の会と共催のバス一泊旅行も楽しみの一つです。その他忘年会など親睦会も盛んです。

色々述べて来ましたが、我々の学習会が目指すのは、まずは楽しくあることです。勉強は楽しくなくてはなりません。苦しい勉強、無理した勉強など楽しい訳はありません。楽しく、かつ真剣に発表を聞き、議論し、知識を深めていく、そのような学習会に今、成りつつあります。興味をお持ちの方は是非気軽に参加下さい。